

# 平成25年度当初予算(案)のポイント

## 予算規模等

平成25年度は、市税の増収が期待できない中、扶助費等の社会保障関係費を含む経常的経費は高水準で推移しており、依然として厳しい財政状況にあります。このため引き続き分権型予算制度に取り組む中、事業の優先度や費用対効果等を勘案するとともに、徹底したコスト意識のもと、選択と集中により効率的・効果的な予算編成に努めました。

特に、新年度は新市制施行50周年を迎え、新たな一歩を踏み出すことから、大分の未来を見据え「中心市街地のまちづくり」、「南蛮文化の薫るまちづくり」、「『減災』に向けたまちづくり」を重点項目に位置づけ取り組んでまいります。

また、公共施設の老朽化対策や地域経済の活性化にも配慮し、国の補正予算等に対応する中で平成24年度3月補正予算と合わせて約225億円の普通建設事業費を確保したところでもあります。

### ○各会計の予算規模

会計区分	平成25年度当初	平成24年度当初	増減率
一般会計	1,617億円	1,744億7,000万円	7.3%減
特別会計	902億9,800万円	858億9,700万円	5.1%増
水道事業会計	188億円	179億円	5.0%増
公共下水道事業会計	183億3,000万円	176億500万円	4.1%増
計	2,891億2,800万円	2,958億7,200万円	2.3%減

※平成24年度3月補正予算(緊急経済対策分)約17億7千万円と合わせると一般会計は約1,634億7千万円(対前年6.3%減)、さらに、平成24年度当初予算の特殊要因約137億円(ホルトホール大分整備事業費、土地開発公社清算事業費)を除くと1.7%増

### ○プライマリーバランスと市債残高の推移(一般会計)

年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
プライマリーバランス	111	100	119	131	141	119	99	137	△48	41
市債残高	2,102	2,097	2,069	2,037	1,980	1,948	1,927	1,860	1,939	1,928

※平成24年度、25年度は予算額

## 重点項目

単位:千円

中心市街地のまちづくり ～魅力と活力の創出へ～ 46億6,700万円	南蛮文化の薫るまちづくり ～大友宗麟を旗印に～ 6億2,500万円	「減災」に向けたまちづくり ～防災から減災へ～ 9億600万円
<ul style="list-style-type: none"> <li>●ホルトホール大分関係事業費 1,494,710</li> <li>●大分駅南公共団地区画整理事業 2,044,260</li> <li>●関連街路事業 194,552 (東大道南春日町線、末広東大道線、県庁前古国府線)</li> <li>●都心南北軸整備関連公共交通環境整備事業 68,300</li> <li>●新大分駅高架下西駐輪場整備事業 31,000</li> <li>●金池南・小鹿児童公園整備事業 50,200</li> <li>●新中心市街地社会実験 72,700</li> <li>●新アートを活かしたまちづくり事業 13,300</li> <li>●新おおいたの元気にぎわい創出事業 4,000 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新大友プロモーション事業 20,000</li> <li>●新おおいたのキリシタン・南蛮文化遺産活用・発信プロジェクト 5,064</li> <li>●大分駅北口駅前広場ザビエル像設置事業 2,000</li> <li>●府内南蛮国際シンポジウム開催事業 3,900</li> <li>●大分市・上智大学連携講座開催事業 1,000</li> <li>●大友宗麟副読本作成事業 4,474</li> <li>●大友氏遺跡公有化事業 507,967</li> <li>●大友氏遺跡歴史公園整備事業 53,000</li> <li>●大友氏遺跡体験学習館運営事業 21,131 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●情報伝達設備整備事業 217,000</li> <li>●新被災者救援物資等備蓄事業 51,331</li> <li>●津波対策事業 4,054 (津波避難場所、避難ビル指定等)</li> <li>●自主防災組織強化事業 21,135</li> <li>●新高齢者安心住まい改修支援事業 9,000</li> <li>●新老朽危険空き家等除却促進事業 5,000 など</li> </ul> <p>平成24年度3月補正予算対応分 17億800万円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●小中学校校舎等耐震化推進事業471,334</li> <li>●小中学校非構造部材耐震化事業228,960</li> <li>●道路・橋梁・トンネル点検補修等 484,900 など</li> </ul> <p>総額26億1,400万円</p>

## 経済対策への取り組み

○24年度3月補正予算 約17億円 (単位:千円)	
・学校施設関係(校舎耐震化、非構造部材耐震化、大規模改修等)	970,788
・道路舗装、維持改良事業等	425,000
・その他(街路、住環境整備、県営農道漁港整備等)	304,950

○25年度当初予算 約208億円	
・大分駅南、横尾区画整理事業	2,751,260
・街路事業	2,071,000
・滝尾中部地区等住環境整備事業	2,050,400
・道路、橋梁新設改良補修事業	1,634,353
・小学校、中学校建設費	1,274,000 など

24年度3月補正予算と合わせて  
普通建設事業費 **225億円** 確保

○24年度当初予算約211億円  
(ホルトホール大分整備事業費除く)より  
約14億円(6.9%)増

○財政収支の中期見通しでの25年度計画  
200億円より  
約25億円(12.7%)増

## 主要施策

単位:千円

### 1. 市民福祉の向上

●新地域づくり交付金モデル事業	27,743
●新(仮称)男女共同参画センター整備事業	20,700
●障がい者福祉施設整備事業	114,930
●高齢者ワンコインバス事業	290,000
●新保育所分園推進事業	88,250
●子ども医療助成事業	1,140,465
●新慢性腎臓病ハイリスク者訪問相談事業	4,827

### 2. 教育・文化の振興

●新大分っ子体力アップわくわく事業	1,500
●新不登校対策事業	8,719
●小中学校校舎耐震化事業	43,648
●春日町小学校、鶴崎小学校校舎改築事業	740,000
●南大分小学校、大在小学校施設整備事業	491,000
●大在中学校施設整備事業	43,000
●(仮称)大分市教育センター整備事業	308,500
●新(仮称)大分市文化振興プラン策定事業	3,700
●おおいた夢色音楽プロジェクト	12,800

### 3. 防災安全の確保

●新ホームページシステムクラウドサービス移行事業	13,000
●佐賀関馬場地区浸水対策事業	119,000
●野津原地区浸水対策事業	98,300
●消防局庁舎増築事業	124,328
●消防局野津原出張所移転建設事業	97,850

### 4. 環境の保全

●太陽光発電設備設置補助事業	60,000
●環境にやさしい自動車導入推進事業	10,000
●地球温暖化対策推進事業	10,476
●新アライグマ防除実施事業	1,866
●納骨堂等複合施設建設事業	179,807
●福宗環境センター清掃工場長寿命化事業	1,112,161

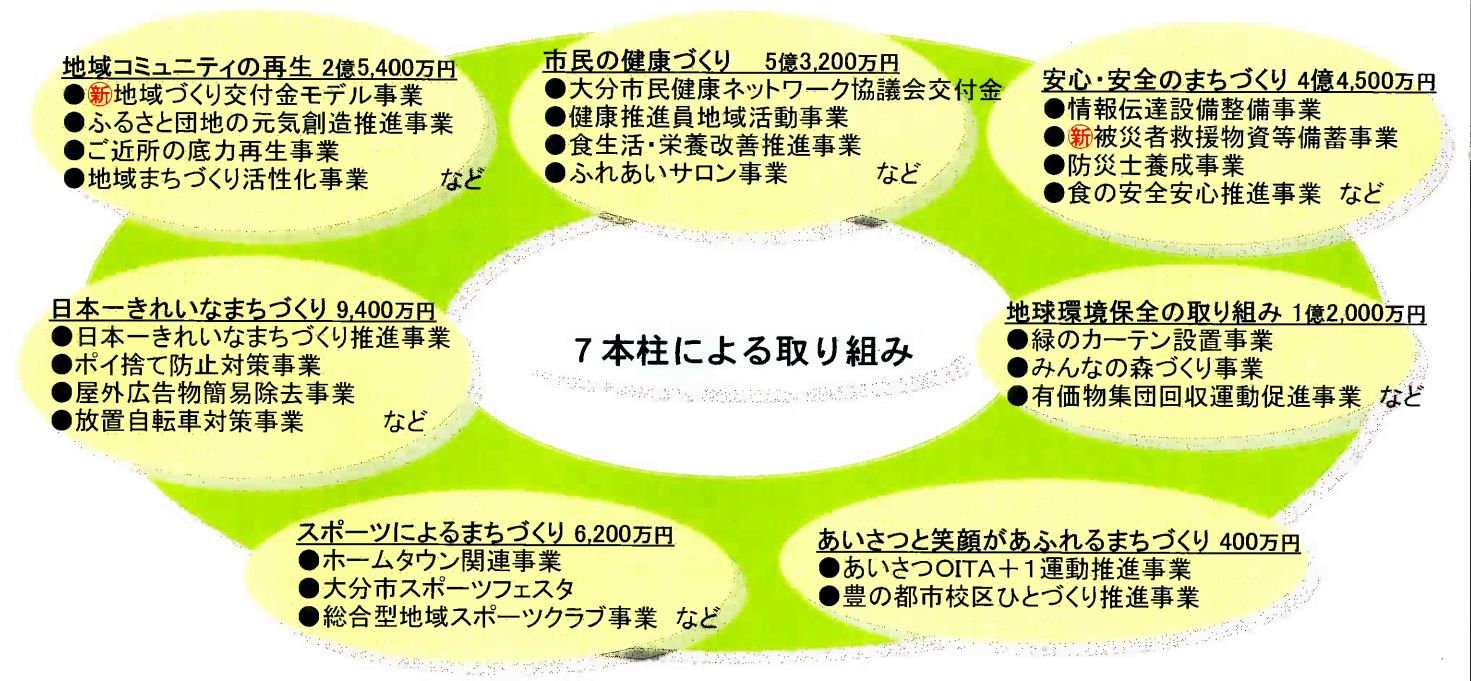
### 5. 産業の振興

●新おおいたマルシェ開催事業	5,800
●「おおいたの幸」ブランド化支援事業	4,460
●農業参入企業推進事業	25,400
●企業立地推進事業	491,500
●商都復活支援事業	65,000
●新おもてなしのまち推進事業	10,000
●新全日本自転車競技選手権大会事業	5,000
●新大分ブランドプロモーション戦略事業	6,200

### 6. 都市基盤の整備

●新小屋鶴住宅建設事業	19,900
●新(仮称)敷戸南台住宅建設事業	23,436
●三佐北地区住環境整備事業	521,500
●浜町・芦崎・新川地区住環境整備事業	577,100
●滝尾中部地区住環境整備事業	769,000
●細地区住環境整備事業	182,800
●横尾公共団地区画整理事業	707,000

## 市民協働のまちづくり



## 行政改革への取り組み

平成25年度当初予算では、約11億円の財源を捻出しました

●総人件費の削減 8億5,000万円 人事・給与制度の見直し、ごみ収集運搬業務・衛 士業務・電話交換業務等の見直しによる職員数 の削減など	●受益者負担の適正化、公有財産の有効活用等 使用料・手数料の見直し、公有財産の売却など	●行政事務の効率化、事務事業の整理合理化 行政評価制度の活用、各種補助金等の見直し
--	--	--